

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2 0 1 2 年 0 2 月 1 3 日【第 2 3 号】

PCBを無害化する処理施設の試運転を開始しました

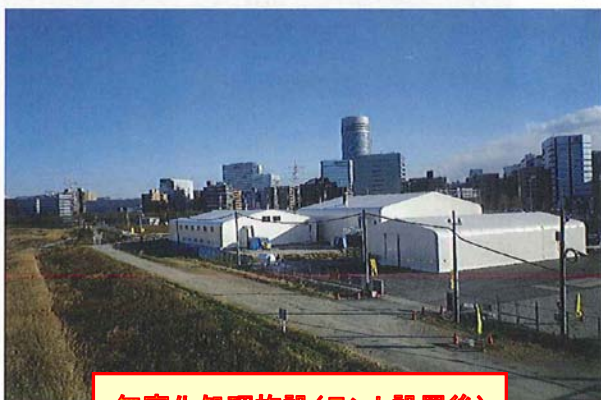


鶴見川多目的遊水地のうち鶴見川および烏山川合流部付近には、ポリ塩化ビフェニル等の有害物質（以下、「PCB等」という。）および異物（木材、プラスチック、がれき類等）が混在している土砂（以下、「異物混入土」という。）が、一時保管されています。

この一時保管されているものの内、PCB等の濃度が比較的高いものについて、「土壌無害化処理」を行います。

無害化処理するための施設は、今年1月初旬に完成し諸検査を受け、試運転を行っています。

同様の問題点を抱える自治体なども見学に訪れ、2月10日にはマスコミを対象とした現場見学会を行いました。



無害化処理施設(テント設置後)



無害化処理施設(テント設置前)

鶴見区駒岡5丁目の堤防補強と河川敷道路工事が行われています

昨年6月に完成した、駒岡5丁目2箇所の堤防補強工事の中間部分の堤防工事と、鷹野大橋付近の河川敷道路工事が行われています。

この道路部分は、平成22年3月に完成した『駒岡防災船着場』に、一般道から災害時における物資等の緊急輸送道路として、河川敷を通して進入するための道路を造っています。鷹野大橋下流側で堤防上の道路に接続される予定です。

道路は、今年6月に完成した部分から下流側に幅6mの道路を造っています。施工延長は、約130mです。

また、堤防補強のための工事も行っています。施工延長は、約310mです。

現在は、堤防の河川側に護岸を張り、その上に30cmの覆土を行い、芝を張って完成となります。

沿川の皆さんへご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。



1月7日(土)14日(土)新春ウォークで鶴見川全川を歩く



7日の参加者です



14日の参加者です

平成24年1月7日と14日(土)鶴見川流域で行われた『つるみ川新春ウォーク』は、両日とも天候に恵まれ流域から集まった人達で、大いに賑わいました。

参加者は、主催者発表で約200名となり、7日に源流から出発し中流域の鴨居まで歩きました。14日は、鴨居から鶴見川河口付近の生麦まで歩きました。

主要な地点で市民団体、関係自治体、京浜河川事務所の方から鶴見川の歴史、治水、環境等について説明が行われました。

ふるさとしょう

TRネット国土交通省の『手づくり郷土賞』に認定



おめでとうございます

鶴見川流域で活動しているTRネットが、鶴見川河川敷での活動を評価され『手づくり郷土賞』に認定され1月29日(日)駒岡地区センターで認定書の授与式が行われました。

TRネットは、鶴見区駒岡の河川敷で防災船着場、大曲広場の花壇等整備が地元の駒岡地区連合会の住民達と活動していることが評価されたものです。

京浜河川事務所には、『リバーシビックマネージャー』(RCM という)という制度があります。鶴見川下流部(鶴見出張所管内)と中流部(新横浜出張所管内)に登録しているRCMの方が、2月1日(水)午後、鶴見川流域センターに集まり、合同の分科会を開催しました。(上流7名、下流10名登録)この分科会には、5名のRCMの方と職員6名が参加しました。

最初に、平石指導官が『河川管理の話題とRCM制度の今後について』話題提供を行い、鶴見出張所長、新横浜出張所長が、工事や河川管理面での話題提供を行いました。

その後、RCMの方と活動報告とゴミや環境問題を含めた意見交換会を行いました。

RCM鶴見川分科会を開催



あ と が き

1月7日(土)は、新春ウォークで鶴見川の上流部分を歩き、いつも管理している中流部との違いを確認してきました。

カワセミがいたり、どんど焼きをする準備が行われていたり、中学生などが管理している花壇がありました。市民の方と鶴見川の話しながら24kmを歩きました。(疲れた)

28日(土)は、鶴見区にある北寺尾自治会の方が大型バスで鶴見川流域センターに来館され、鶴見川の紹介を行った後、越流堤の案内をさせていただきました。

29日(日)は、手づくり郷土賞の認定式の会場へ出席し、マスコミの方を現地案内しました。

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センター来館者数2.7万人を超えました

1月の来館者数は、1,930名となり、今年度の累計は、27,105名になりました。あと3,000名弱で3万人となります。楽しみにしています。

1月には、奈良県知事、2月には韓国のソウル市長なども来館しました。

この鶴見川流域センターには、鶴見川で行われている総合治水対策など紹介していますが、外国や日本の中でも異常気象により洪水が多発している現在、色々な機関で興味を持って見られているようです。

そういう影響もあつてか、来館者も増えています。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)